

ホウライオバナゴケ

Dicranella coarctata (C.Muell.) Bosch & Sande Lac.

兵庫県ランク… C

環境省ランク… -

■ 県内分布

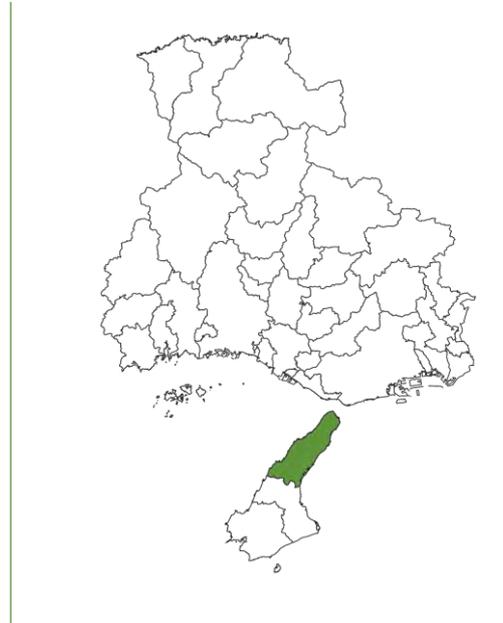
淡路市

■ 国内分布

本州、四国、九州、琉球諸島、小笠原諸島

■ 選定理由

人為性	特殊性	学術性
生育環境破壊	特殊生育環境	特殊な分布
観賞用等採取	特異な生態	分布の限界
		希少
		○



■ 特記事項

-

■ 保護上の留意点

-

■ 種の概要

茎は高さ10mm程度。葉は長さ2.5-6mm、基部は幅広く鞘状で急に長い芒状に伸び、移行部は肩状になる。葉の芒状部はほぼ中肋からなり、背面は平滑、先端近くの縁には細かい鋸歯がある。鞘部中部の細胞は細い矩形、長さ45-80 μ m。内雌苞葉の芒は鞘部よりも長くなる。蒴柄はわら色で細く、長さ10-15mm。蒴は卵形で直立し、赤褐色。蓋には長い嘴がある。蒴歯はススキゴケに似る。胞子は直径20-25 μ m。地上の土上に生育する。